

第57回 日本病院・ 地域精神医学会総会 「転換期」



学会総会

日時：2014年 **10月31日(金)**～**11月1日(土)** (市民公開講座は10月30日開催)

会場：**仙台国際センター** (仙台市青葉区青葉山無番地)

記念講演

10月31日(金)



15:30～16:30

造反有理

—精神医療・保健福祉の転換期へ—

立岩 真也 氏

(社会学者・立命館大学大学院
先端総合学術研究科教授)

1960年、新潟県佐渡島出身。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学後、千葉大学、信州大学医療技術短期大学部を経て、2004年より立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。専攻は社会学。著書：単著に『弱くある自由へ・自己決定・介護・生死の技術』『希望について』（青土社）、『自由の平等』（岩波書店）、『ALS』（医学書院）、『良い死』『唯の生』（筑摩書房）、『私的所有論第2版』（生活書院）。共著に『税を直す』『ベーシックインカム』『差異と平等：障害とケア／有償と無償』（青土社）、『流儀』『家族性分業論前哨』『生死の語り行い』『生の技法 第3版』（生活書院）。近刊：『自閉症の連続体の時代（仮）』（みすず書房）。2013年に出版された『造反有理-精神医療現代史へ-』（青土社）では、開放病棟、薬物療法や生活療法への問い、ロボットミ-手術への批判などを具体的に検証し、いまだ正解の見えない精神医療と社会の關係に鋭いメスを入れている。

シンポジウム

10月31日(金)・11月1日(土)

10/31	14:00～15:20	A. 東日本大震災とメンタルヘルス	みやぎ心のケアセンター 共催シンポジウム
	9:00～10:20	B. 「障害者権利条約」 時代の病院・地域精神医療を問う	学会企画シンポジウム
11/1	10:30～11:50	C. 隔離・身体拘束の実態と人権擁護	理事会シンポジウム
	13:00～15:50	D. 転換期 -どう変わる精神保健・医療・福祉-	メインシンポジウム

市民公開講座

参加無料

10月30日(木)

16:00～17:50 **100年後の人々へ**

—福島原発事故と放射能の真実—

小出 裕章 氏

(京都大学原子炉実験所助教)

18:00～19:50 **東日本大震災と東北**

—被災地の小説家が見ているもの—

熊谷 達也 氏

(仙台市出身、直木賞作家)

【大会長】原 敬造
【事務局】医療法人社団 原クリニック
仙台市青葉区昭和町2-25
TEL080-5844-1098/FAX022-274-5134

【第57回仙台大会HP】 <http://57byochisendai.jp>

【Facebookページ】 <https://www.facebook.com/57byochisendai.jp>

本学会総会は次のポイントの対象となります。

日本精神神経学会専門医 資格更新に関わる研修ポイント

日本作業療法士協会 生涯教育基礎研修ポイント

日本病院薬剤師会 精神科薬物療法認定ポイント

内容詳細、参加のお申込み等はホームページよりご確認ください。